

会 議 録

会 議 名	平成30年度第2回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	平成30年11月28日(水) 18時～20時		
開 催 場 所	801会議室		
出 席 委 員	小林真理委員長 桑谷哲男副委員長 坂野勝一委員 星野幸子委員 五井由紀委員 村越桂子委員 津田野栄一委員 鈴木輝一委員 西田剛委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 鈴木遵矢 コミュニティ文化課文化推進係 岡本和晃 コミュニティ文化課文化推進係 高橋航 2 市民交流センター指定管理者 (1) 野村不動産パートナーズ株式会社 施設管理マネージャー 原田亮 (2) サントリーパブリシティサービス株式会社 館長 宇山友思 支配人 青木直人		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者数	0人
会 議 次 第	(1) 委員自己紹介 (2) 委員長、副委員長の互選 (3) 前回議事録の報告 (4) 平成31年度事業計画について (5) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	(1) 平成30年度第1回議事録 (2) 平成31年度小金井市民交流センター事業計画書 (3) 指定管理者からの資料		

会議に先立ち西岡市長から委嘱状の交付及び挨拶を行った。

## 1 議題へ入る前に事務局から説明

- (1) 事前配布資料の確認、当日配付資料の確認を行った。
- (2) 会議の運営について事務局から説明を行った。

本運営協議会の開催時期は、6月から9月までの間に第1回として開催し前年度の事業報告についての審議、9月から11月までの間に第2回として開催し次年度の事業計画について審議する。

各議題の最後に指定管理者に対する意見や要望がある場合においては、それをまとめる（指定管理者へ指摘すべき点等について協議し、市に対して意見をするということが本協議会の所掌事務のため）。

## 2 委員自己紹介

各委員から自己紹介を行った。

事務局及び指定管理者の自己紹介を行った。

## 3 委員長、副委員長の互選

小林委員が委員長に決定

桑谷委員が副委員長に決定

## 4 前回議事録の報告

前回運営協議会について事務局から報告

## 5 平成31年度事業計画について

指定管理者から平成31年度事業計画について説明の後、質疑を行った。

・委員から3階ホワイエに設置されているモニターの画質が良好ではない件について改善策の検討状況について質問

→指定管理者から「デジタルサイネージの不具合発生により解像度が粗くなっており、市へ改修提案を行っているものの、予算の確保ができず、対応できていない」と回答

・委員から平成31年10月から予定されている消費税増税に伴う利用料金の改定検討状況について質問

→市から、増税に伴う利用料金改定は現時点で行う予定がない旨回答

・委員から和室の使い方について質問

→指定管理者から、「和室の使い方については、保健所の指導内容を基に施設利用ルールを定めている。利用内容によっては、利用者自身に保健所の見解を確認していただき、必要に応じて届出等の手続も案内していくようにする」という回答

・委員から「現在、施設の利用率については高いレベルで推移しているが、施設を利

用していない市民に対して、どのようなニーズがあるのかといった部分での政策評価のような市民アンケートについては、引き続き実施してもらえよう市側で働きかけてほしい」という要望

・委員から「指定管理者が実施する自主事業や、施設における行政使用については、市民同士の抽選会の倍率なども鑑みて、調整を図ってほしい」という要望

→指定管理者から「市民に文化芸術との接点を持ってもらうと共に、市民にも使っていただけるように一定の空きを確保しておくことは、バランスをどこにおくかといった点で難しい問題である。基本的には同施設で同じ月に2日以上の主催事業を行わないなど、一定の制限はかけつつ運営を行っている状況である」と回答

・委員から「施設の利用者の中には、様々なご意見を持っている人がおり、その表し方によっては、悪質なクレームにつながることも少なくない。そのような利用者にも対応することができるよう、行政と指定管理者とで早めにカスタマーハラスメント対策を練っておくとよいのではないか」という意見

・委員から「江戸東京たてももの園などとコラボレーションを進めることで、さらなる地域貢献を果たせるよう検討を進めてほしい」という意見

・委員から「自主事業のジャンルについては、クラシックに偏ることなく、様々なジャンルでの事業を開催すると、さらなる集客につながるのではないか」という意見

・委員から「公表されている年間利用者数が減少してきており、今後の想定はどのような考え方に基づいているのか」という質問

→指定管理者から「利用者数については、自主事業の中で指定管理者の努力により人数増を図れる部分と、貸し館事業の中で指定管理者が利用者から報告を受けるのみになる部分とがある。全体として後者の割合が大きいこともあり、利用者数の今後の推移などについて予想することは難しい」と回答

・委員から「市民間の交流の中で、文化団体相互における交流も図ることができるよう、施設においても働きかけてほしい」という意見

→指定管理者から「文化団体が多く存在する小金井市において、施設があることによって市民や団体による交流を図ることができるよう、事業の内容も検討していきたい」と回答

・委員から「次年度の計画を考えるに当たって、主催事業における収支の考え方などを教えてほしい」という質問

→指定管理者から「収支予算管理は指定管理期間5ヵ年の中で、プロポーザルを行ったタイミングから、全体のバランスを諮りながら、主催事業を進めていけるよう、年度ごとに検討・見直しを行っている。また、主催事業の広報宣伝費などを踏まえた企画の内容については、これまでの集客状況などを把握した上で次年度以降の事業計画につなげていきたい」と回答

・委員から施設の清掃業務における、座席清掃業務の実施頻度について質問

→指定管理者から「業務仕様にに基づき年間1回の実施にとどまっているが、予算を執

行していく中での残額状況や、座席の汚れ具合によって、適宜対応を行っている」と回答

・委員から「施設壁面におけるサインデザインについて、著作権などの登録がすでに行われているのか」という質問

→市において状況を確認する旨回答

・委員からチケット上限額などの設定状況について質問

→指定管理者から「各主催企事業ごとの収支を考えるわけではなく、年間トータルの収支を踏まえた上で、公共文化施設が実施する文化事業としての適性価格を鑑みて、概ね4,500円程度をチケットの上限額とし、各主催事業の実施について検討を行っている」と回答

・委員から「お茶席など、伝統文化に関する利用について、保健所に一定の理解が得られるよう施設側からも働きかけてほしい」という意見

→指定管理者から「保健所などの手続において、行政の代執行として事業を行っている点にも触れ、一定の理解が得られるよう努力していきたい」と回答

・委員から公演中止保険の導入状況について質問

→指定管理者から、客席数などの関係からも公演中止保険を導入していない旨回答

・委員から「友の会提携店については、市民が使いやすいような提携店を積極的に導入してほしい」という意見

⇒ 上記の議論を踏まえ、運営協議会として、次のとおり要望・質問をまとめた。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 施設を利用していない市民に対して、政策評価のような市民アンケートを実施してほしい（要望）</li><li>2 施設壁面におけるサインデザインにおける、著作権などの登録状況（質問）</li></ol> |
|---|

## 6 その他

・平成31年度末で現指定管理者の指定管理期間を終えることから、平成31年度早々から、次期指定管理者選定に関するスケジュールが動き出していく旨報告

・次回運営協議会を平成31年6月から9月の期間に開催することとした。